

佐原聖家族園新聞

H26.4.7第61号発行
発行責任者:高木美枝子
編集:岩田・向後・桐谷

新年度を迎えて

佐原聖家族園の桜の花がちょうど咲き始めた4月1日、5名の新任職員を迎えて桜の花をバックに全員集合の記念写真を撮りました。さあ、気持ちも新たに新年度のスタートです。とはいっても、利用者にとっては、新しい職員が加わり、担当も変わり、ちょっと不安と緊張と落ち着かない4月でもあります。早く、お互いに慣れ、理解し合えるようになって欲しいと願っています。

さて、昨年度は、日中活動(作業)の更なる充実のため、念願の農作業棟が3月に完成しました。今年度は、創設十三年目を迎え、建物の老朽化と利用者の快適な生活のため、各小舎のトイレの改修をできるだけ利用者が混乱しないよう配慮しながら進めて行きたいと考えています。また、今年1月から始まった「家族交流会」についても、ご家族の皆様と職員とが気持ちを一つに、利用者一人ひとりのより快適なそして充実した園生活のためにも、有意義な会にしていきたいと考えております。是非、多くのご家族の皆様にご参加戴き、職員との情報交換の場として、そして、沢山のご意見を戴ければ幸いです。今年度も、どうぞよろしくお願いたします。 園長 高木美枝子



すずらんとしたいたげ班の篠崎優子です。Donaldと嵐が好きです。元気に頑張ります。



篠崎 優子
すずらんの家
椎茸班

さつき小舎・椎茸班担当となりました。笑顔絶やさず、精一杯頑張りますのでよろしくお願いたします。



青谷 亮介
さつきの家
椎茸班

また佐原聖家族園でのお話になることになりました。頑張りますのでよろしくお願いたします。



佐藤 晴美
なのはなの家
内職班
主任

旭市出身の實川です。明るく元気がモットーです。皆さん宜しくお願いします。



實川 紀子
つくしの家
内職班

佐原聖家族園に配属になりました。いつも笑顔で元気にをモットーに利用者の方々と楽しく過ごしたいと思います。



桐谷 知里
りんごの家
食品加工班

いちこの家、手工芸班の担当となりました。林彩です。笑顔と挨拶を大切にしていきたいです。よろしくお願いたします。



林 彩
いちこの家
手工芸班

今後の予定

4月 16日 小舎活動
23日 クラブ活動
26日 家族交流会・家族会総会

5月 7日 小舎活動
14日 クラブ活動
17日 体育祭・家族交流会
28日 クラブ活動



ナザレの家かとり



2月から3月中旬にかけて数名の方がインフルエンザに感染してしまいましたが、感染が拡大しないよう、日中活動等はお休みし、約5日間の部屋での静養で対応しました。発症者全員大事には至らず、2日経つと熱も下がり、症状も落ち着きました。うがい・手洗い・マスク着用などの基本的な感染予防を行ってきましたが、防ぐことができず申し訳ありませんでした。

3月には、各ハウスで夜間想定防災訓練を行い、今までも訓練を行ってきたため、迅速に避難ができていました。今後の課題として、煙や火の回りを遅らせる為、避難する際に開けた扉を閉めて出ることにつけて行って行けたらと思います。

平成25年度も皆様には大変お世話になりました。本年度も昨年度以上に楽しい行事などを企画して行きたいと思っております。 地域担当 稲野 正樹



一年間のアルバムより



社会福祉法人 ロザリオの聖母会
さわら せい かぞくえん

佐原聖家族園

〒287-0027 千葉県香取市返田323-1

TEL 0478-50-7117

FAX 0478-50-7118

佐原聖家族園E-Mail:s-kazokuen@rosario.jp

ロザリオE-Mail:honbu@rosario.jp

ロザリオHomePage:http://www.rosario.jp

編集後記

前年度担当だった三塚より引き継ぎ、今年度よりあたらしく桐谷が新聞担当に変わりました。岩田・向後と3人で楽しく新聞を作っていると思います。まだまだ不慣れなところがあり、ご迷惑をお掛けすることがあるとは思いますが、よろしくお願いたします。

<向後>

椎茸班慰労会

3月28日（金）。しいたけ班慰労会の為、稲敷市にある洋食レストラン吉野を目指し、しいたけ班の利用者を乗せたマイクロバスは園を出発。風が強く、花粉も多く飛んでいたが天気は良く晴れた日でした。気温も高く絶好の外出日和となりました。

普段なら作業をしている時間帯に皆でマイクロバスに乗っているのは新鮮です。そのせいか車内の利用者の皆さんだけでなく、支援員も楽しみでソワソワしていました。

正午にはレストラン吉野に着きいざ食事の時間。ハンバーグやチキン。それぞれが食べたい物を食べ、お腹もいっぱいになりました。

また、厨房職員の加瀬さんの手作りイチゴのショートケーキも皆で食べ、大満足の日になりました。

普段、一生懸命作業に取り組んで頂いている分、来年度も楽しい慰労会にしていきたいと思ひます。 担当 郡司 賢一



作業棟祝別式



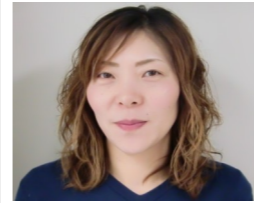
昨年度から行われていた作業棟の新築工事が無事完了し、4月2日（水）祝別式が行われました。満開の桜と好天に恵まれた式は厳粛に行なわれ、職員一同が感謝の気持ちと新たな一歩への想いを熱くするものとなりました。

ご尽力いただいた関係者の皆様ならびに長期にわたり私たちの活動を支えてくれた旧作業棟、そしてその作業棟を手作りで作り上げて下さった皆様の想いと、今後を担う私たちの想いを込め、利用者の日々の活動がますます充実するよう努めて参ります。

どうもありがとうございました。 飯島 広司



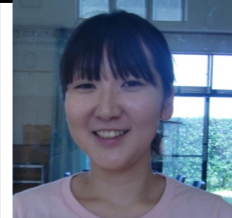
異動職員・利用者紹介



葉計 里美

平成19年の7月よりここで勤務し、早いもの6年半が経ちました。利用者さん達と過ごした日々を振り返ると、楽しい思い出ばかりです。同じ法人内の異動ですので、行事等で見かけた時は、「さとみちゃん！」とお声を掛けて頂けたら幸いです(^ ^)

利用者さん、御家族の皆様、ありがとうございました。



鈴木 祐美子

今まで5年間利用者、ご家族の皆さんには大変お世話になりました。私自身利用者さんの笑顔・元気な姿には幾度となく励まされ、勇気をもらい頑張ることができました。

佐原聖家族園で経験したことを心の糧にしてこれからはソーシャルワーカーとして頑張っていきたいと思ひます。今後よろしくお願いいたします。

葉計里美支援員は聖ヨセフつどいの家の支援員として、鈴木祐美子支援員は友の家のソーシャルワーカーとして異動となりました。お二人が佐原聖家族園の支援員として勤務した数年間の思い出は、目には見えない大きな力となってこれからも私たちの心の中に残っています。利用者の皆さんも職員も、とても寂しいですが、お二人の新たな職場での活躍を願って見送りました。本当にありがとうございました。変わらずに頑張ってください。時には佐原聖家族園のみんなに会いに来てください。



地元返田の伝統芸能 一万灯祭にて

これまで長年に渡り佐原聖家族園で共に過ごしてきた山本進さんが、平成26年4月1日より聖マリア園（旭市）に生活の場を移すこととなりました。優しい笑顔と明るい歌声で他利用者・職員はいつも温かい気持ちになることが出来ました。カラスの鳴きまねは、今でも皆の心に響いています。家族園での思い出を胸に、ますますお元気に過ごされることをお祈りしております。生活の場が変わっても、いつまでも家族です。

利用者職員一同

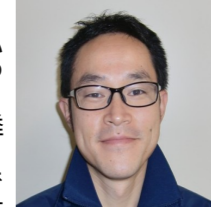


職員紹介（支援員）



海上 健久
すずらの家
農耕園芸班
副主任支援員

佐原聖家族園に来て2年目になりました。昨年同様、楽しい時間を利用者のみなさんと過ごしていきたいです。



伊藤 文洋
もくれんの家
手工芸班
生活科副主任

いつも隣りで笑ってくれてありがとうございます。今年も一緒にガハハと笑いましょ。



飯島 広司
生活科係長

白髪の気になる年頃ですが、気持ちは若く張り切っています。